

オペラ

木林は生きています

オペラシアターこんにゃく座

2025年12月21日(日)

開場時間14:30 開演時間15:00

会場 新宿文化センター大ホール(新宿6-14-1)



上演2時間10分
休憩15分含

一般料金

指定席／大人3300円
18歳以下2200円
3歳未満無料(お膝席)
自由席／大人2200円
18歳以下1100円
3歳未満無料(お膝席)

*受付9月1日開始

*申込はHPから▶▶



会員無料

原作:サムイル・マルシャーク(訳:湯浅芳子)
台本・作曲:林 光 演出:眞鍋 卓嗣

ココロを動かせ!
あそびつくせ!
まだまだ先へ!

後援:新宿区

新宿区教育委員会

新宿子ども劇場

共催:公益財団法人新宿未来創造財団

主催
問合せ

(特非)あそびと文化のNPO新宿子ども劇場

〒162-0853新宿区北山伏町2-17 ゆったり~の共同事務所

TEL/FAX 03-5261-8696 MAIL shinjukukodomo123@gmail.com



★わん★ 11:00~14:00
クリスマスツナギ

もあるよ! *別途要申込



オペラシアターこんにゃく座公演

オペラ 森は生きている

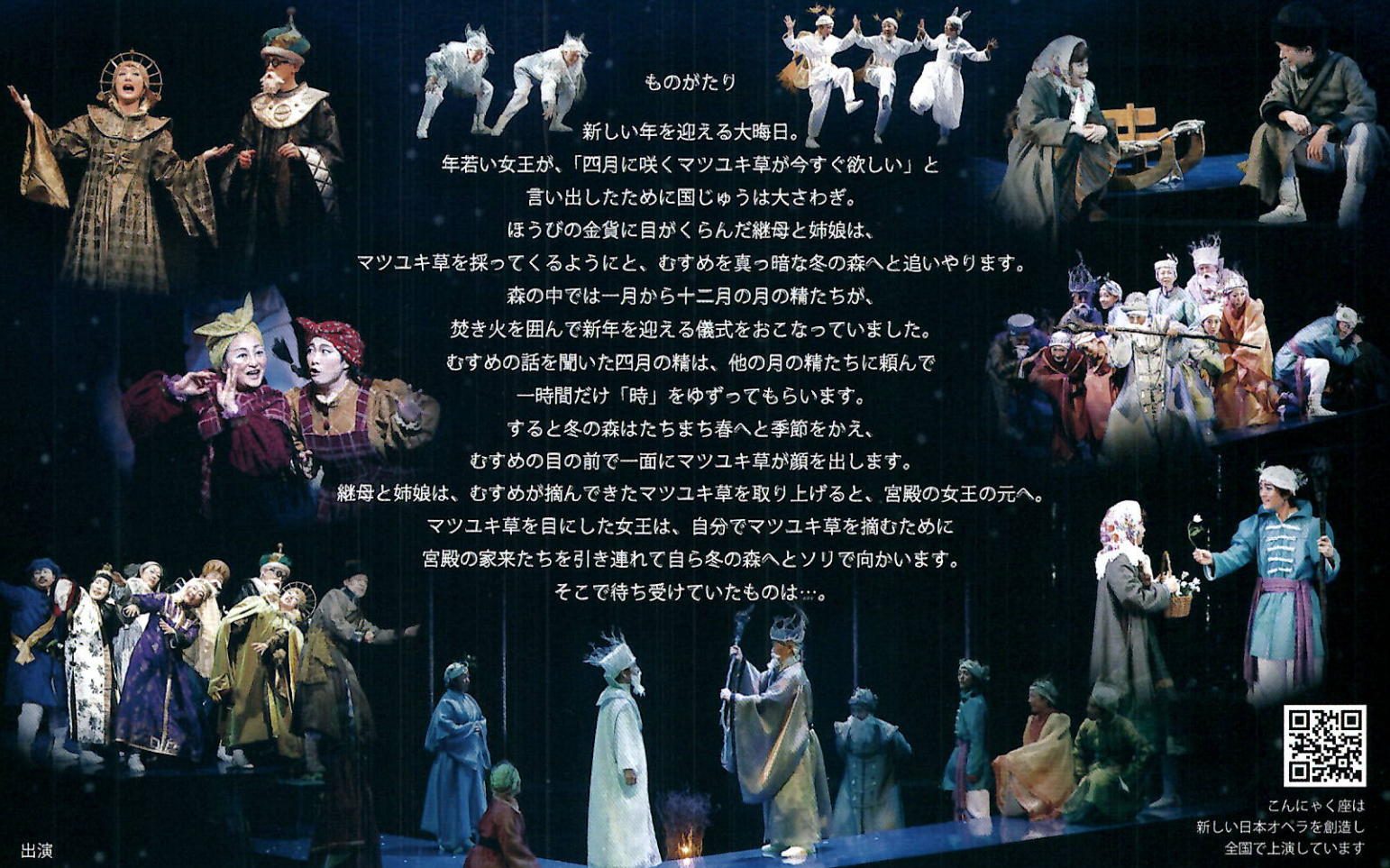
原作 サムイル・マルシャーク
(湯浅芳子訳による)

台本・作曲 林光

演出 眞鍋卓嗣

美術 伊藤雅子
衣装 山下和美
照明 金英秀
振付 白神ももこ
舞台監督 八木清市
音楽監督 萩京子
Illustration ミロコマチコ
Title design 片山中蔵

1954年、戦後まもなく劇団俳優座によって「森は生きている」が日本初演されたとき、劇音楽を担当したのが当時22歳の林光でした。
こんにゃく座がオペラ『森は生きている』を初演したのは1992年。以来、こんにゃく座の大切なレパートリー作品として毎年上演し続けています。



ものがたり

新しい年を迎える大晦日。

年若い女王が、「四月に咲くマツユキ草が今すぐ欲しい」と
言い出したために国じゅうは大さわぎ。

ほうびの金貨に目がくらんだ継母と姉娘は、
マツユキ草を探ってくるようにと、むすめを真っ暗な冬の森へと追いやります。

森の中では一月から十二月の月の精たちが、
焚き火を囲んで新年を迎える儀式をおこなっていました。
むすめの話聞いた四月の精は、他の月の精たちに頼んで
一時間だけ「時」をゆずってもらいます。

すると冬の森はたちまち春へと季節をかえ、
むすめの目の前で一面にマツユキ草が顔を出します。

継母と姉娘は、むすめが摘んできたマツユキ草を取り上げると、宮殿の女王の元へ。
マツユキ草を目にした女王は、自分でマツユキ草を摘むために
宮殿の家来たちを引き連れて自ら冬の森へとソリで向かいます。
そこで待ち受けていたものは…。



こんにゃく座は
新しい日本オペラを創造し
全国で上演しています

出演



新宿子ども劇場 新にあ?

新宿子ども劇場は“すべての子どもたちに文化を！”と
子どもも大人も一緒になって楽しめる活動を創っています。

.....これから活動.....

- 12月 7日(日)『ライフイズ アサーカス!!!!』@戸山小学校体育館
- 1月 8日(日)『食器は歌う』@落合第一小学校体育館
- 2月 8日(日)『しんじゅく・キッズ♡ミュージアム』
@四谷区民ホール
- 3月 8日(日)『子ども商店街』@エコギャラリー新宿

新宿子ども劇場は、
子どもたちの文化体験格差を
なくすための活動を進めています。
文化体験へアクセスしにくい子どもたちへ
「鑑賞チケット」をプレゼントしませんか?
みらいチケット を購入していただくと、
子どもたちを支援している団体を通して、
子どもたちに届きます。

本公演は『リラックスパフォーマンス公演』です。
劇場での鑑賞に不安がある人でも安心して舞台芸術を楽しめる
ように、通常の公演よりも鑑賞マナーを緩和した公演形態の
ことです。障害の有無や年齢に関わらず、誰もが気軽に芸術文化
に触れる機会を増やすことを目指しています。

ご来場の皆さまへのお願い

本公演は、通常の公演で期待される鑑賞マナーを緩和して実施するものです。
上演中もお客様の移動やざわつき、多少の話し声が予想されることをご理解
くださいますようお願いいたします。

<主催>
(特非)あそびと文化のNPO
新宿子ども劇場
<https://kodomogeikijo.net/>

グッドガバナンス認証
2023G(0)0084

